



浜家連ニュース



第138号

平成24年(2012)年2月1日発行

○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3F
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

骨格提言を生かした総合福祉法の制定を！ ～障害者自立支援法廃止と新法のゆくえ～

平成24年1月22日(日)13時～16時30分まで健康福祉総合センター4階ホールにて、主催は骨格提言を学び総合福祉法を結実させる神奈川の会が呼びかけて、後援団体は手をつなぐ育成会、浜家連、障神奈連、守る会連盟等の関係諸団体の皆様が一同に会して、勉強会が開催されました。

講師は内閣府・障がい者制度改革推進会議 総合福祉法部会の一員で、きょうされん理事の小野 浩さんでした。

講演内容は「骨格提言にそった障害者総合福祉法の実現を」「世界に誇れる障害者総合福祉法を！」で、民主党が5年前の日比谷の全国集会で「自立支援法の廃止」を謳い、その後一部改正案が出て、昨年8月には約100頁に及ぶ障害者総合福祉法の「骨格に関する総合福祉部会の提言」が出されました。

今回の新法に関する具体的な審議状況を聞くことが出来ました。自立支援法は法律が制定された時から不具合があって、各業界からの意見を踏まえてその都度一部修正で法律が運用されてきました。特に大きな問題は「応益負担」でした。これはその後「応能負担」にはなりましたが、まだまだ障害者にとっては生活するのに厳しいことには変わりはないことです。世帯主の収入を含めると依然として本人には負担が生じていることが語られました。

障害者権利条約を導入したニュージーランドでの導入の事も話が出ましたが、日本が批准するには、関連する多くの法律の改正が必要ですし、国民の障害者に対する意識の変換も求められることとなりますので、これからの政治次第になりますが、障害者の方が、地域で普通に暮らせる世の中を目指して、諦めないで前に進んでいくようにこれからも地道に活動を続けていきたいと思えます。

県および市町村の議会から骨格提言に基づく障害者総合福祉法の制定を国にもとめる意見書の決議を地方議会から出してもらおうような働きかけを、各団体と一緒に取り組んでいって欲しい事が強調されて講演会は終了しました。

浜家連ではその後の、常任理事会で請願団体に加わることが承認され、取り組んでいくことになりましたので、家族会の会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

(事務局 斉藤)

重度障害者医療費助成制度について

昨年の11月の県議会で、高橋稔議員の障害者の地域生活支援策の充実についての質問に対して、黒岩知事から、重度障害者医療費助成制度について精神障害者に拡大する方向で事業実施主体である市町村と協議をしていくことが表明されました。(詳細は神奈川県議会議事録をご覧ください。) 浜家連が要望してきた事が前に進んでいきそうです。



♪ ♪ チャリティーコンサートについて ♪ ♪

おかげさまで、チケットは1月中旬に完売となりました。その後のお申し出には、止むを得ずお断りしています。寒い時期ではありますが、チケットご購入のお客様は、ご来場をよろしく申し上げます。

平成24年2月12日(日)

出演者 上條 恒彦 小室 等

曲 目 出発の歌 だれかが風の中で 襟裳岬

さとうきび畑 雨のベラルーシ なんとでも 他

開 場 : 午後2:00 開 演:午後2:30 全席自由席

会 場 : KAAT 神奈川芸術劇場 (みなとみらい線日本大通り駅3番出口徒歩5分)

主 催 : NPO法人浜家連チャリティーコンサート実行委員会

後 援 : 横浜市健康福祉局 横浜市社会福祉協議会 他多数

お問合せ先 NPO法人浜家連チャリティーコンサート実行委員会

TEL 045-548-4816 FAX 045-548-4836

☎ ☎ 電話相談臨時休止のお知らせ ☎ ☎

平成24年2月12日(日)の電話相談は、チャリティーコンサートが行なわれる為、臨時休止としますのでご承知ください。

「こころの健康を守り推進する基本法」〈仮称〉の地方議会での 意見書」採択の動きについて

副理事長 柏木 彰

「こころの健康を守り推進する基本法」〈仮称〉の制定を求める100万人署名活動では会員の皆さまに格別のご支援をいただき誠に有難うございました。皆さまのお力で、現在までに全国から45万筆を超える署名が集まっています。浜家連でも現在までに9,978筆を数えており、浜家連がこれまでにを行った署名活動では最高の結果です。これを受けて、ついに昨年12月1日には法制化をめざして「こころの健康推進議員連盟」が発足したことは既にご存知のとおりです。

この法制化の流れを一層加速させ確実にしていくために、政策構想実現会議では、署名活動と並行して全国の地方議会で国会や政府に対し「基本法」の法制化を求める「意見書」を採択してもらう運動を進めています。国民的な運動で、新しい法律の制定や制度・政策の改善を求める場合は、国会議員への直接の働きかけと同時に、多くの地方議会（都道府県議会、市町村議会など）からも法律の制定を求める「意見書」が採択され、国会に送られることは、多くの国会議員に国民世論を知ってもらう上で有効な手段です。

浜家連でも1月に入って、横浜市会2月定例会で「こころの健康を守り推進する基本法」〈仮称〉の制定を求める意見書を採択してもらう働きかけを行っています。

市会の議員の方々にも身内にこころの健康問題を抱えている人がおられたり、市役所の職場でもうつ病などこころの困難を抱えている人が増えていることなどから、われわれの意見書採択の請願に大変理解をもって対応していただいています。

3月の「浜家連ニュース」では是非とも皆様に朗報をご報告できることを祈っています。

浜家連 一泊研修旅行のご案内

すでにご案内をしております浜家連 一泊研修会は以下の通りです。梅まつりを楽しみながら、早春の伊東温泉を満喫していただければと思います。

----- 記 -----

日 時:平成24年3月7日(水)～8日(木)

場 所:伊東温泉 ホテルニュー岡部

住所 伊東市桜木町2-1-1 ☎ 0557-36-4540

集合場所: 横浜駅西口 天理ビル前

集合時刻:8時30分(出発 9時)

移動手段:貸し切りバス(ガイドはつきません)

費 用:お一人様 10,000円(当日の出発前に集金します)

申込み締切り:平成24年2月10日(金)の理事会まで

(最終締切りは平成24年2月21日(火)まで)

申込み方法 :別紙申込み書により事務局までお申込み下さい。

行 程 : 別途お知らせします。



～我が憧れの女王～ 増田 明美さん！ すずらん会 鈴木 本陀理

私は中学時代陸上部で長距離を走っていたので、増田明美さんには当時から親しみを込めて知っていました。「小学校の先生になろう！」と心に決めていた増田明美さんは千葉県内でも学力の高い県立長生高校に進学するつもりで真剣に勉強していたそうです。ところがある日、思いがけない電話が彼女の人生を変えてしまいます。

千葉県下でも陸上競技に力を入れている、名門成田高校陸上部の滝田監督からの電話で、スカウトに彼女の家を訪ねてくるのです。中学3年の夏、全国大会での800mで入賞した彼女の走りを見ていたのです。この人についていけば「本当に日本一になれるかもしれない」と直感が強く働いたのです。成田高校といえば、後にオリンピックで活躍する砲丸投げ(今はハンマー投げ)の室伏宏治選手などを輩出する全国でも陸上の名門として知られています。滝田監督のもとで17歳という若さで彼女は次々と日本新記録を樹立していくのです。

1981年5月3日5km、5月9日3km、10月25日1万m、1982年2月21日マラソン日本最高記録等まさに日本女子長距離の女王となったのです。こんなすごい選手は世界に二人とおりません。ところが彼女も人間、早く走るには体重が軽いほうがいいと考えて、体重を落とすために食事を制限し、その調整に失敗して貧血に悩みます。宗兄弟からの「マラソンは先が長いんだから“楽しい”と思って走っていないと、最後まで続かないよ」との貴重なアドバイスに救われたのです。ついに1984年の8月5日、ロサンゼルスでオリンピックでは初めての女子マラソンに佐々木七恵さんと共に出場するのです。ピストルの号砲とともに39人の女子ランナーが一斉に

スタート。オリンピックへの調整合宿では体調を崩していた彼女は、ロサンゼルスに入ってから調子が上がらずレースが近づくにつれて緊張も増し、体が硬直するほどになっていたのです。それでも彼女は気おくれすることもなく一気に先頭に飛び出しそのままトップで走っていきませんが4キロ地点で大きな集団に追い越されると、しばらく後についていたものの、次第に離されていきます。9キロ地点で佐々木七恵さんに抜かれてしまうと、気が抜けてしまい、ついに16キロ地点でレースを途中棄権してしまったのです。その時の心境を彼女はこう語っています。「何が何でも最後まで走ろう、歩いてでもゴールしよう!」という強い意志や「ビリでもいいから走ろう」という謙虚な気持ちがあったら、完走だけはしていたと思います。しかしそれをしなかったのは、「心に住みついていておかしいプライドのせいでした」と素直に述懐しています。

更に彼女の目を引きつけたのは、37位でゴールしたスイスのアンデルセン選手の姿です。ゴールのメモリアルコロシアムに着いたときは、既に足元がおぼつかず、目の焦点も定まっておられません。やがて体をくの字にまげると左右にゆらゆら揺れながら一步一步歩き出し、役員が手を差し伸べても首を振って一人で進もうとして、すがりつく様にゴールへ倒れこんだのです。

この姿を見て棄権をした自分の姿が頭をよぎります。「これはもう、日本には帰れない」と思ったそうです。日本中の期待を背負いながらオリンピックの舞台で完走出来なかった自分。その重圧が彼女の胸を一層締め付けたのだそうです。

でも彼女はすごい!いかなる挫折・困難も乗り越えて、今はマラソン・駅伝等のテレビ解説で思いやりのある素敵な優しいスポーツジャーナリストとして日々活躍されています。

浜家連ニュースをご覧の皆様、2月16日(木)に開催される市民フォーラムの「自分という人生の長距離ランナー」の講演会は絶対見逃せませんよ!この続きが聞けそうです。乞う ご期待!

イベントのお知らせ

§ 1 Cブロックフォーラム

日時 平成24年2月16日(木) 午後1時~午後4時
(開場12時30分)

場所 南区公会堂(市営地下鉄 蒔田駅下車 徒歩3分)

定員 500名(予約不要) 参加費 500円(資料代)

内容 1部(午後1時10分~2時30分)

講演 テーマ ~アクセスのいい時宜に適った医療~

講師 東海林 正 先生(石川町クリニック 院長)

2部(2時40分~3時50分)

講演 テーマ “自分という人生の長距離ランナー”

講師 増田 明美 さん(スポーツジャーナリスト)



訃報 みどり会の常任理事藤井博夫さんが12月22日急逝されました。ご冥福をお祈りします。

編集後記

厳しい寒さが続いています。もうすぐ春になりますので、あとしばらくの辛抱です。

被災地の方々もご苦労されています。今回のコンサートの一部を寄付することになっています。